

## 車輪脱落事故防止緊急メッセージ

謹啓 寒冷の候、会員の皆様におかれましては、益々御清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、車輪脱落事故については、昨年札幌市内で不正改造と思われる軽四輪自動車から外れた車輪が幼児に直撃し、重体となっている事故の発生以降、社会的に大きな注目を集め事故が発生するごとに大きく報道がなされております。

昨年度は、大型車両による車輪脱落事故が、全国で死亡事故1件を含む142件発生しており、北海道内においても人身被害の発生はないものの24件もの事故が発生しております。

北海道内においては、今年度も11月にダンプから左後輪2本が外れた事故、12月3日には走行中のダンプから左後輪2本が外れた事故が2件(うち1件は人身事故)、さらに12月6日もダンプの左後輪2本が外れる事故が発生するなど、車輪脱落事故が相次いでいる状況です。

車輪脱落事故は、一歩間違えば歩行者などを巻き込み死亡事故に至る重大な交通事故になりますが、その反面、『規定の締付トルクで増し締めを行う』『日常点検等においてホイール・ボルトの緩みを確実に確認する』など、実施しなければならない事項を確実に励行することで、発生件数を限りなく『0』に近づけることができます。

過去の統計分析の結果から

**毎年11月から12月にかけての発生が突出している**

**タイヤ脱着後2か月以内の発生が約8割**

という状況が見てとれます。

正に今の時期、実施しなければならない事項を確実に励行するとともに、**特に発生が多い左後輪を重点とした緩みの点検を確実に実施するなど、各事業所において緊急一斉点検に取り組んでいただき、車輪脱落事故防止を徹底**していただくようお願いいたします。

末筆ながら皆様の御健勝を心から祈念申し上げます。

謹白

令和6年12月

北海道トラック協会

会長 松橋 謙一

輸送秩序交通対策委員会

委員長 本間 雅実